

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項・案内図・構内配置図	1
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（北部構内）	2 ～ 3
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（本部構内）	4
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（吉田南構内）	5
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（医学部構内）	6
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（病院西構内）	7 ～ 1 0
実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（薬学部構内）	1 1

京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備改修）工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所
- 京都市左京区北白川追分町（京都大学北部構内）
京都市左京区吉田本町（京都大学本部構内）
京都市左京区吉田二本松町（京都大学吉田南構内）
京都市左京区吉田橋町（京都大学医学部構内）
京都市左京区室護院川原町53（京都大学病院西構内）
京都市左京区吉田下阿達町（京都大学薬学部構内）
2. 完成期限
- 令和9年3月24日（水）

3. 建物概要

建物名称	(北部) 実験排水 貯溜槽上家	(本部) 実験排水 貯溜槽上家	(吉田南) 実験排水 貯溜槽上家	(医学部) 実験排水 貯溜槽上家	(病院西) 病院排水 貯溜槽上家	(薬学部) 薬学研究科実験 排水貯溜槽上家	
工 程	模様替	模様替	模様替	模様替	模様替	模様替	
構造	R造	R造	R造	R造	R造	R造	
階数	2	1	2	1	1	2	
建築基準法による	建築面積 (㎡)	206	45	66	61	110	94
	延べ面積 (㎡)	315	66	90	61	110	144
消防法施行令別表第一の区分		(7) 項	(7) 項	(7) 項	(7) 項	(7) 項	(7) 項
改修表面積 (㎡)		2100	1500	700	1400	2200	700
備考							

4. 工事種目

・ 印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	建 物 別 及 び 屋 外					
	(北部) 実験排水 貯溜槽上家	(本部) 実験排水 貯溜槽上家	(吉田南) 実験排水 貯溜槽上家	(医学部) 実験排水 貯溜槽上家	(病院西) 実験排水 貯溜槽上家	(薬学部) 実験排水 貯溜槽上家
○ 仮設工事	一式	一式	一式	一式	一式	一式
・ 防水改修工事						
・ 外壁改修工事						
・ 建具改修工事						
・ 内装改修工事						
・ 塗装改修工事						
・ 耐震改修工事						
・ 環境配慮改修工事						
・ プール改修工事						
・ 電気設備工事						
・ 機械設備工事						
○ 実験排水槽改修工事	一式	一式	一式	一式	一式	一式

5. 指定部分
- 無 有 対象部分（
指定部分工期 令和 年 月 日（ 曜日）
6. 概成工期
- 無 有 令和 年 月 日（ 曜日） (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様
- (1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負契約基準、現場説明書、図面 11 枚及び本特記仕様書 1 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

・ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)

・ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科改修仕様書」という。)

○ 工事写真撮影要領(令和5年9月)

・ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)

・ 建築工事標準詳細図(令和4年改定)

○ 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する技術資料（2014年12月版）

○ 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（令和5年3月）
- ~~(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。~~
~~なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）、~~
~~機械設備工事の特記仕様書は（ ）による。~~

2. 特記仕様
- (1) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の（ ） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の（〔 ） 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

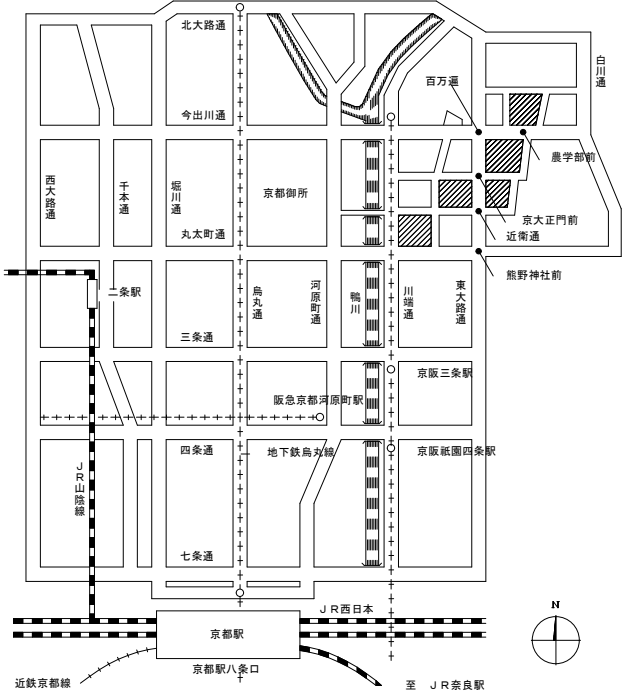
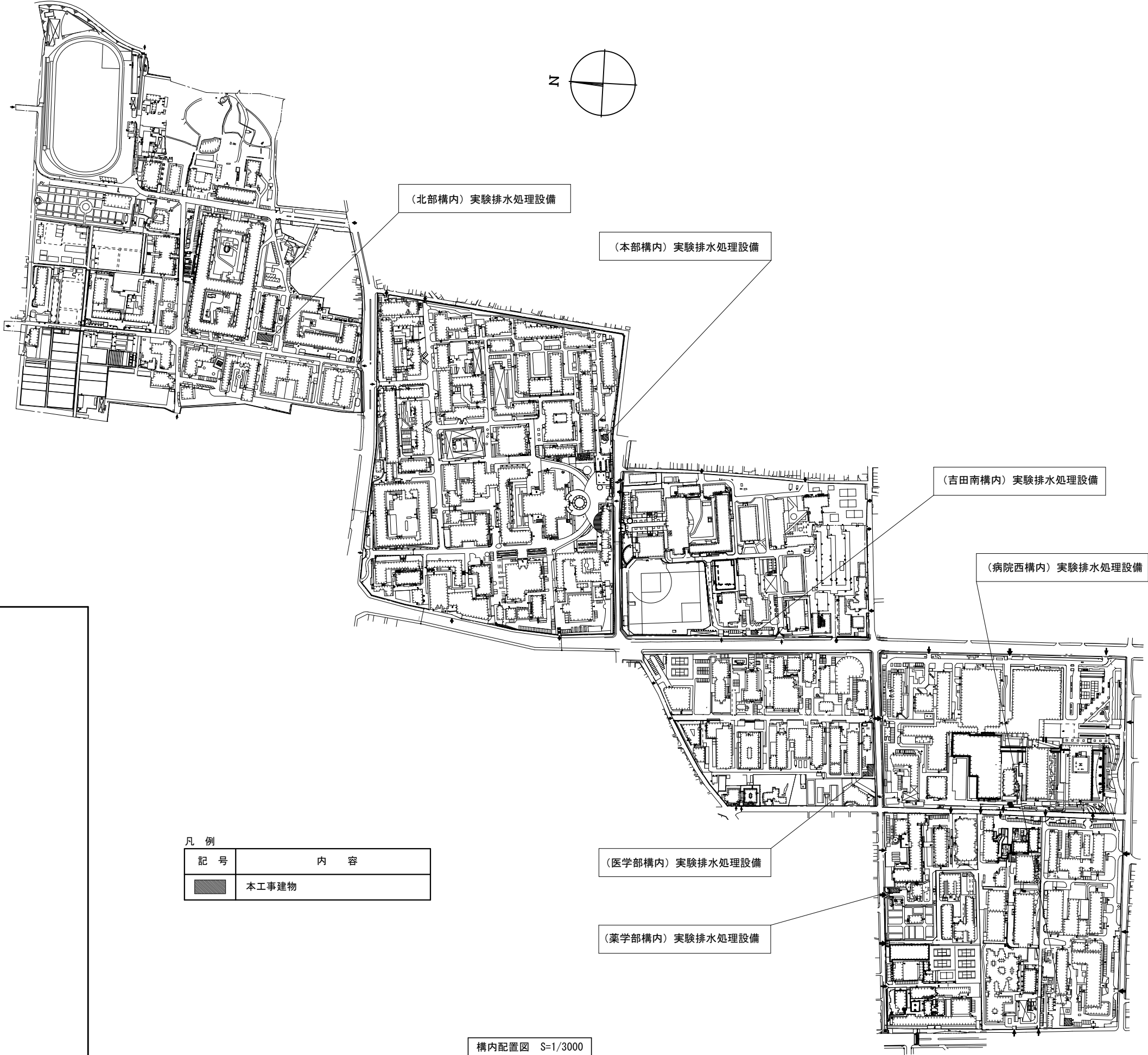
特記事項に記載の〔 [] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- 4) ㊦ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

項 目		特 記 事 項																				
1 各 章 共 通 事 項	・ 適用区分	・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速（V ₀ = 32m/s） 地表面粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ） ・ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ） (1.3.3～4) [1.3.3～4]																				
	○ 電気保安技術者、 工事用電力設備の 保安責任者	この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。 <table><tr><th>項 目 名</th><th>電気保安 技術者</th></tr><tr><td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td><td>・</td></tr><tr><td>4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td><td>・</td></tr><tr><td>5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td><td>・</td></tr><tr><td>6 第1種電気工事士の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>8 第2種電気工事士以上の資格を有する者</td><td>・</td></tr><tr><td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者</td><td>・</td></tr></table> 工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。		項 目 名	電気保安 技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・	4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・	5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・	6 第1種電気工事士の資格を有する者	・	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・	8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者
項 目 名	電気保安 技術者																					
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○																					
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○																					
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・																					
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・																					
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・																					
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・																					
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・																					
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・																					
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・																					
○ 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 (1.3.5) [1.3.5] ●本工事場所周囲には、研究棟が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。 ●工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破壊等した場合は速やかに対応すること。 ●工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。 ●騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。 ●臭気の発生する作業は、室内に臭気が流入しないように対策を講じる。 ●学校行事・近隣地区行事により作業が制約されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定すること ●構内の水替及び仮排水は本工事で行うものとする。 ●月1回以上の頻度で各団地の仮設排水管に流れる実験排水の水質を測定すること（京都市下水道水質基準項目）。また、測定の結果、基準値を超えた場合の対策を講じるものとする。 ●劣化部の除去及び除去により発生した廃棄物は適正に処理を行うこと。 ●構内実施中、または実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。 ●その他建物内や敷地周辺に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。																					
工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備改修）工事		図面番号																				
図面名称 特記仕様書（抜粋）		縮尺	設計日 令和8年7月																			
特 1																						

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、監督職員と協議の上決定し、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
 - 2) 工事用地は発注図にて定める範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。
また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
 - 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
 - 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
 - 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
 - 6) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
 - ~~7) 突降となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。~~
 - 8) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すること。
 - 9) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
 - 10) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
 - 11) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法に基づく受動喫煙対策を講ずること。
 - 12) 墜落防止にかかる、安全設備設置等、安全対策を実施すること。
 - 13) 構内で作業を行う場合は、酸素欠乏等防止にかかる安全対策を実施すること。

- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
 - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
 - ~~7) パネルゲートには電子書き回転灯を設置するなど事故防止に努めること。~~
 - 8) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。

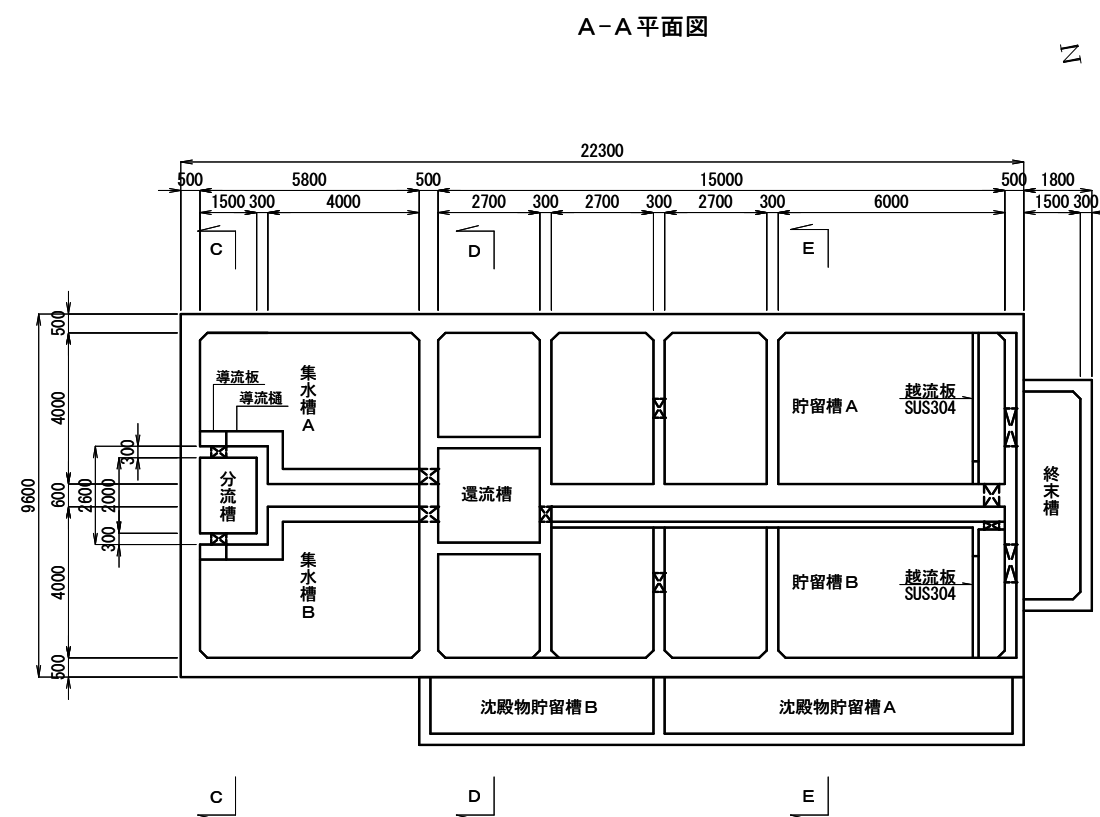
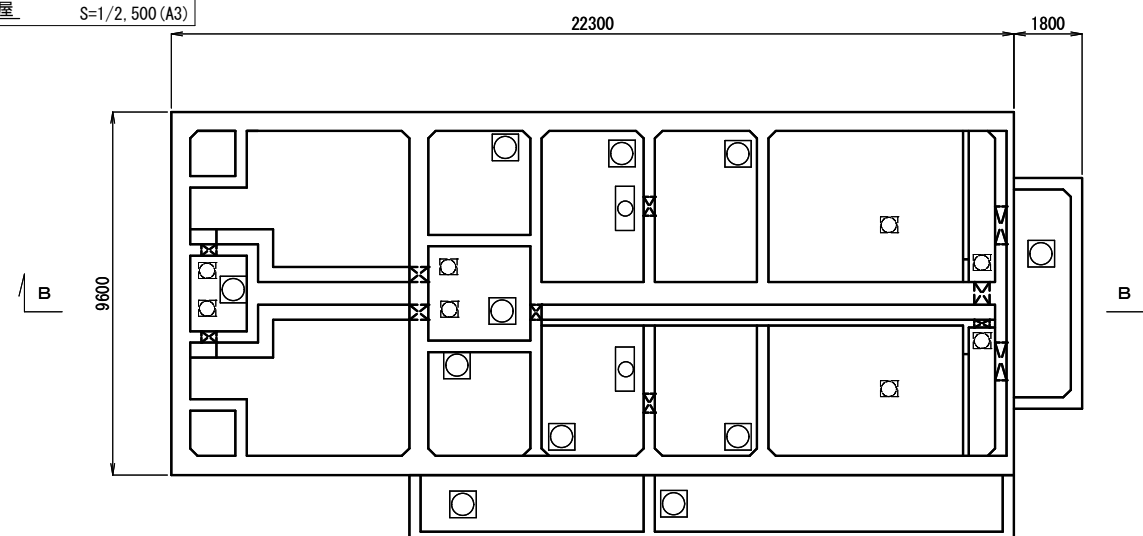


凡 例	
記 号	内 容
	本工事建物

構内配置図 S=1/3000

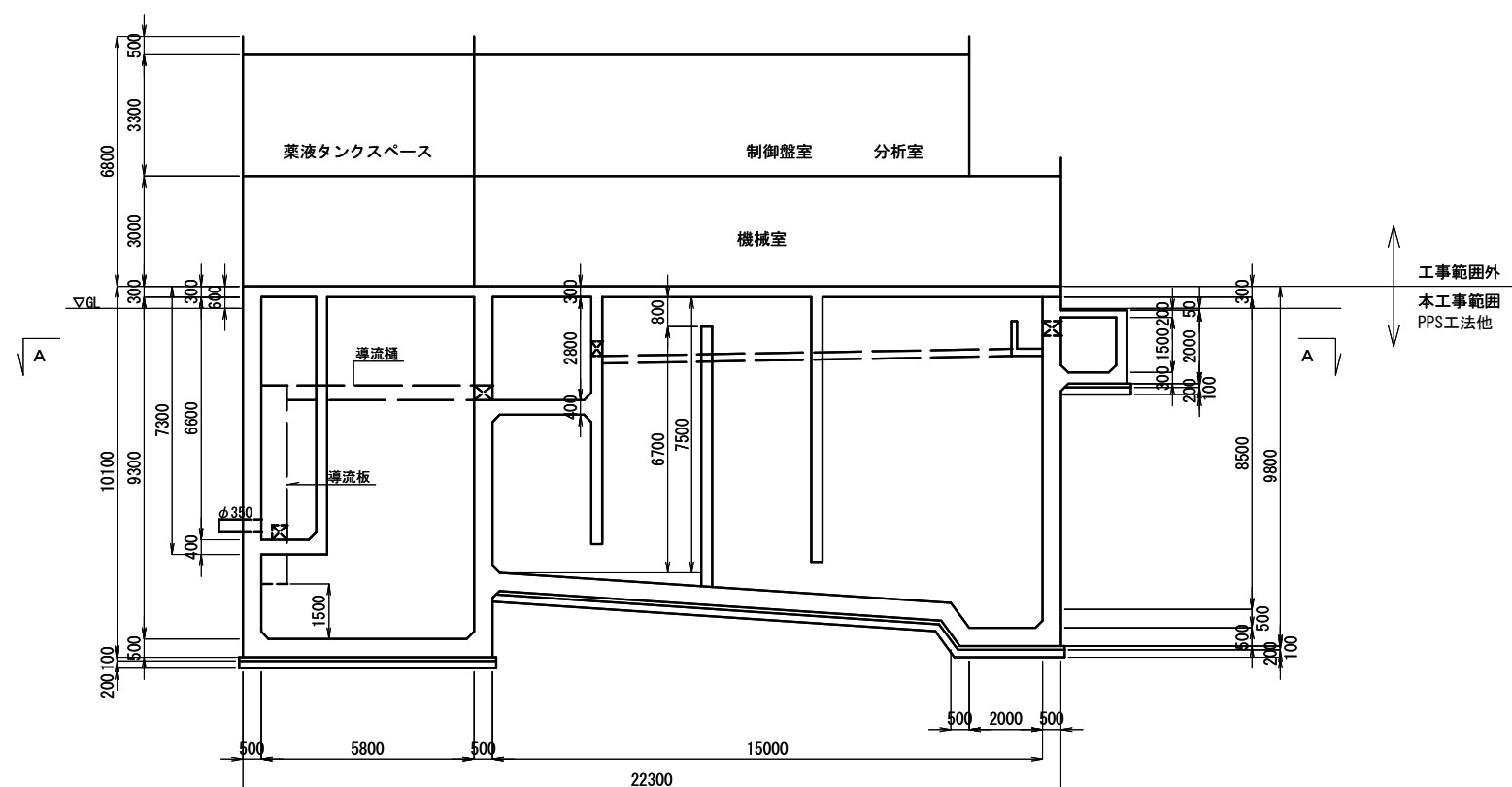
工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備改修）工事			図面番号 1
図面名称 現場説明付記事項・案内図・構内配置図	縮尺 A1:1/3000 A3:1/6000	設計日 令和8年7月	

平面图



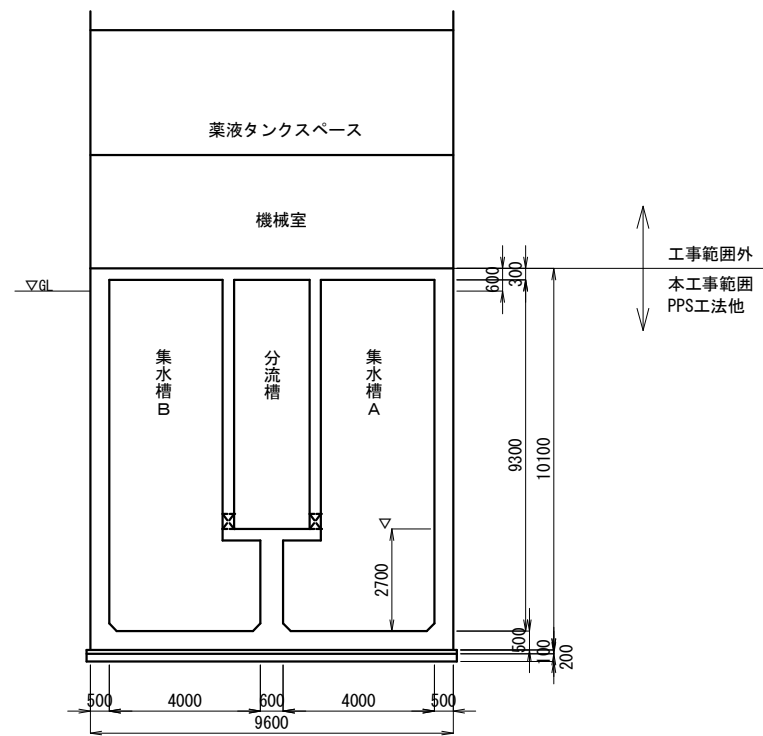
A-A 平面图

B-B 断面图

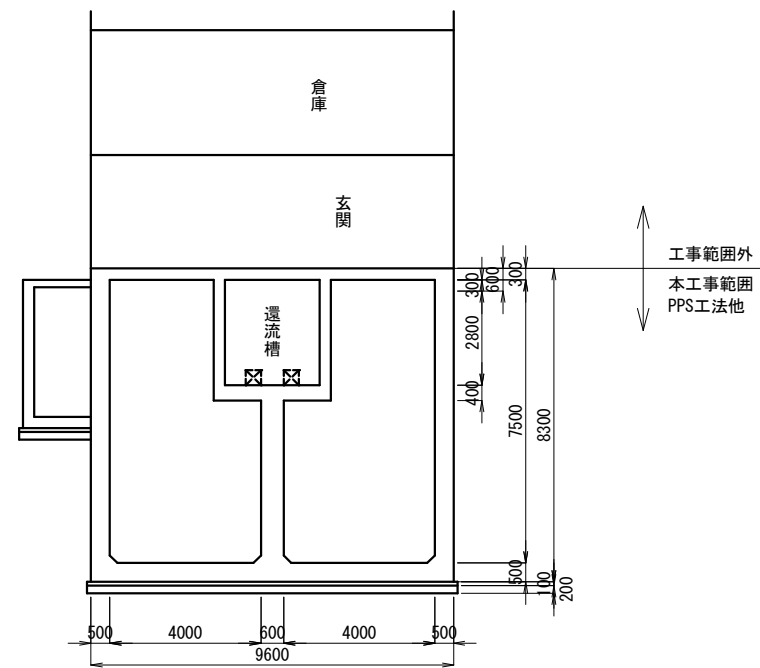


工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備改修）工事	
図面名称 実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（北部構内）（1）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 設計日 令和8年7月

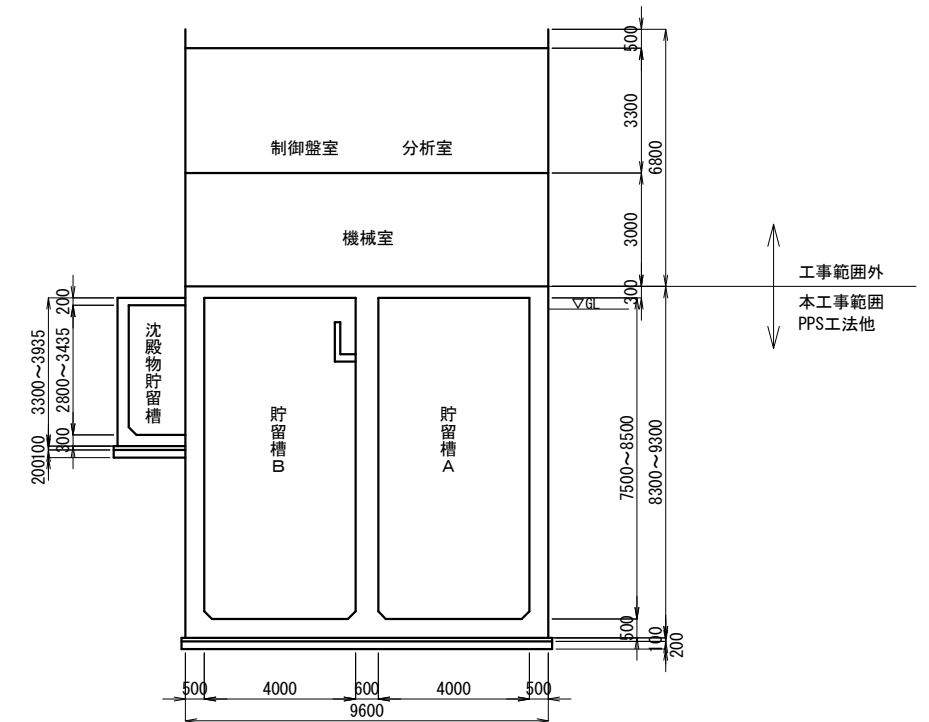
C-C断面図

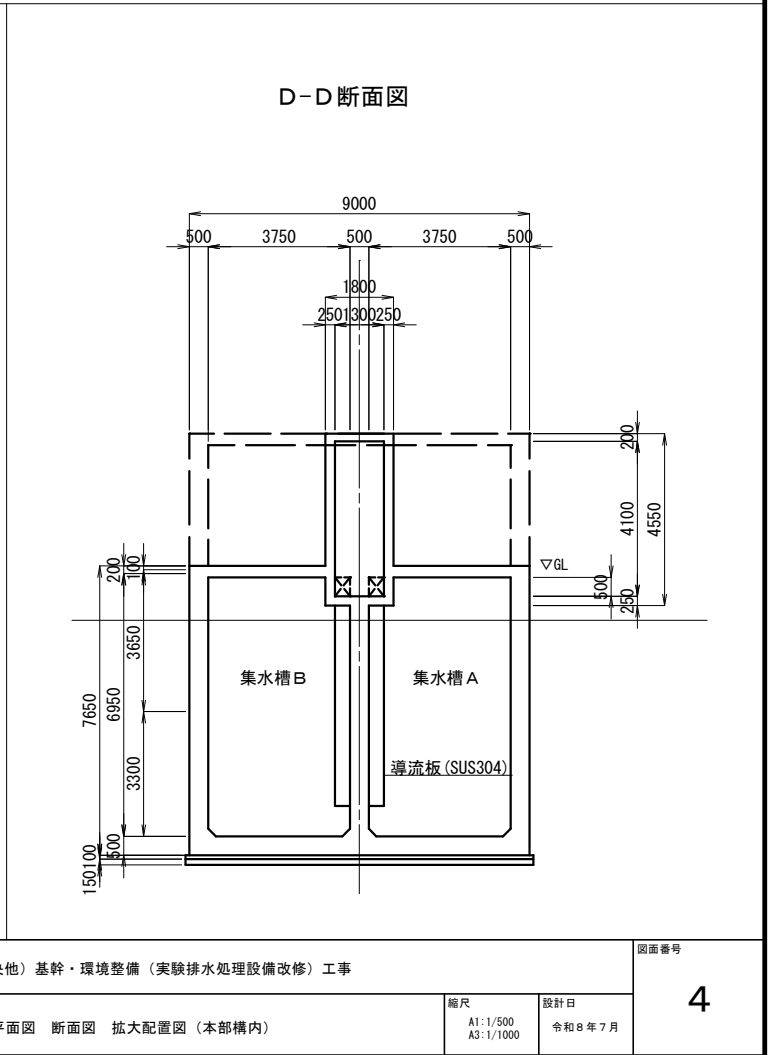
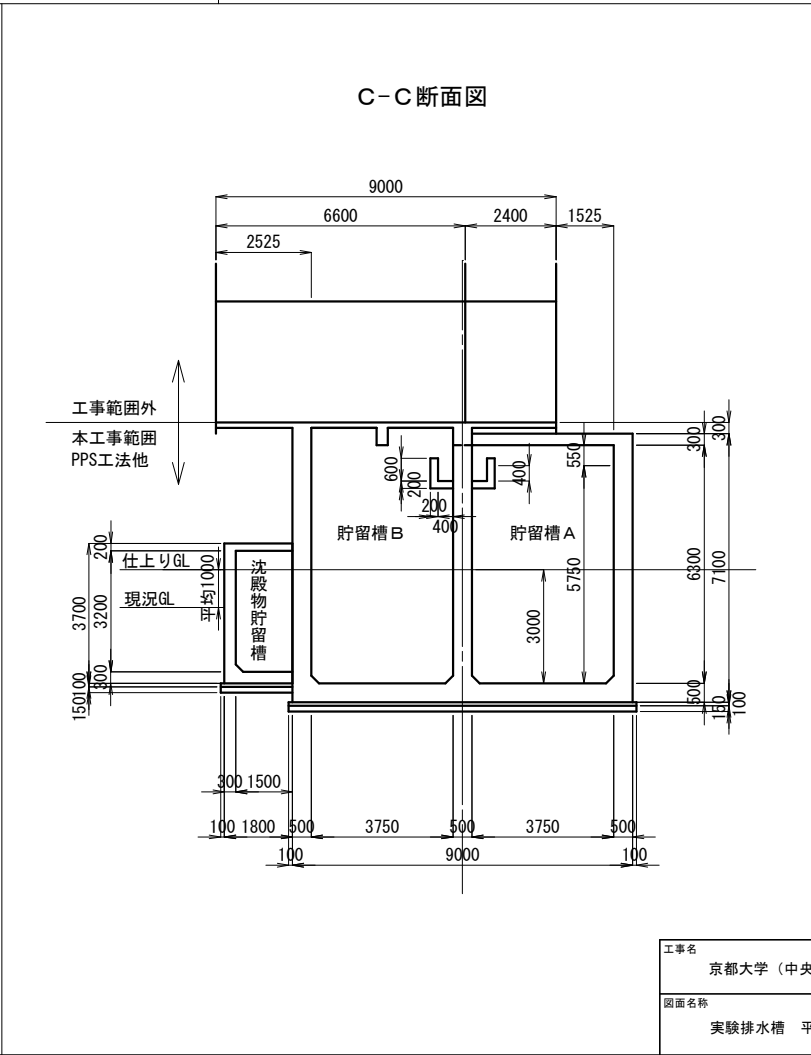
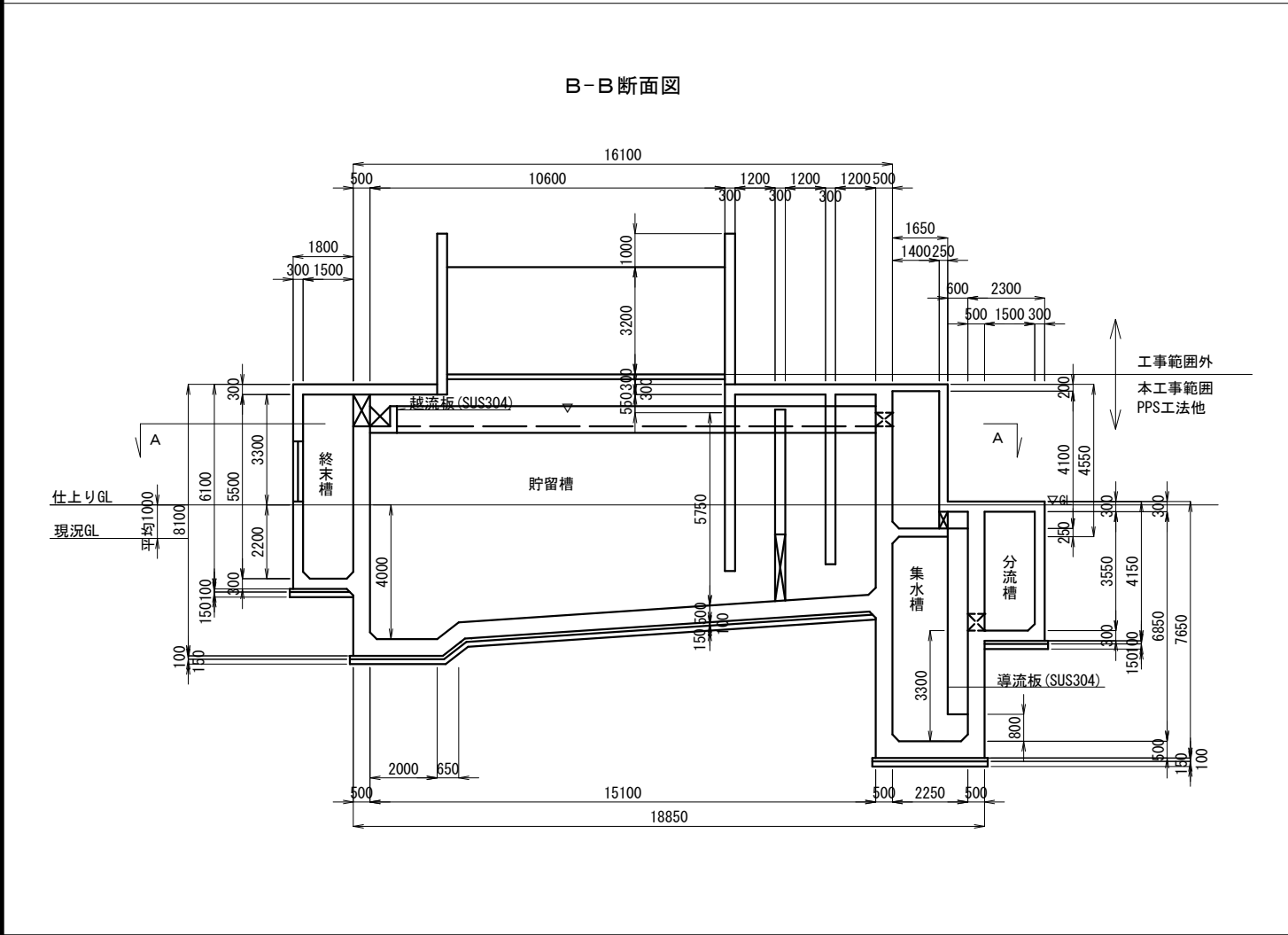
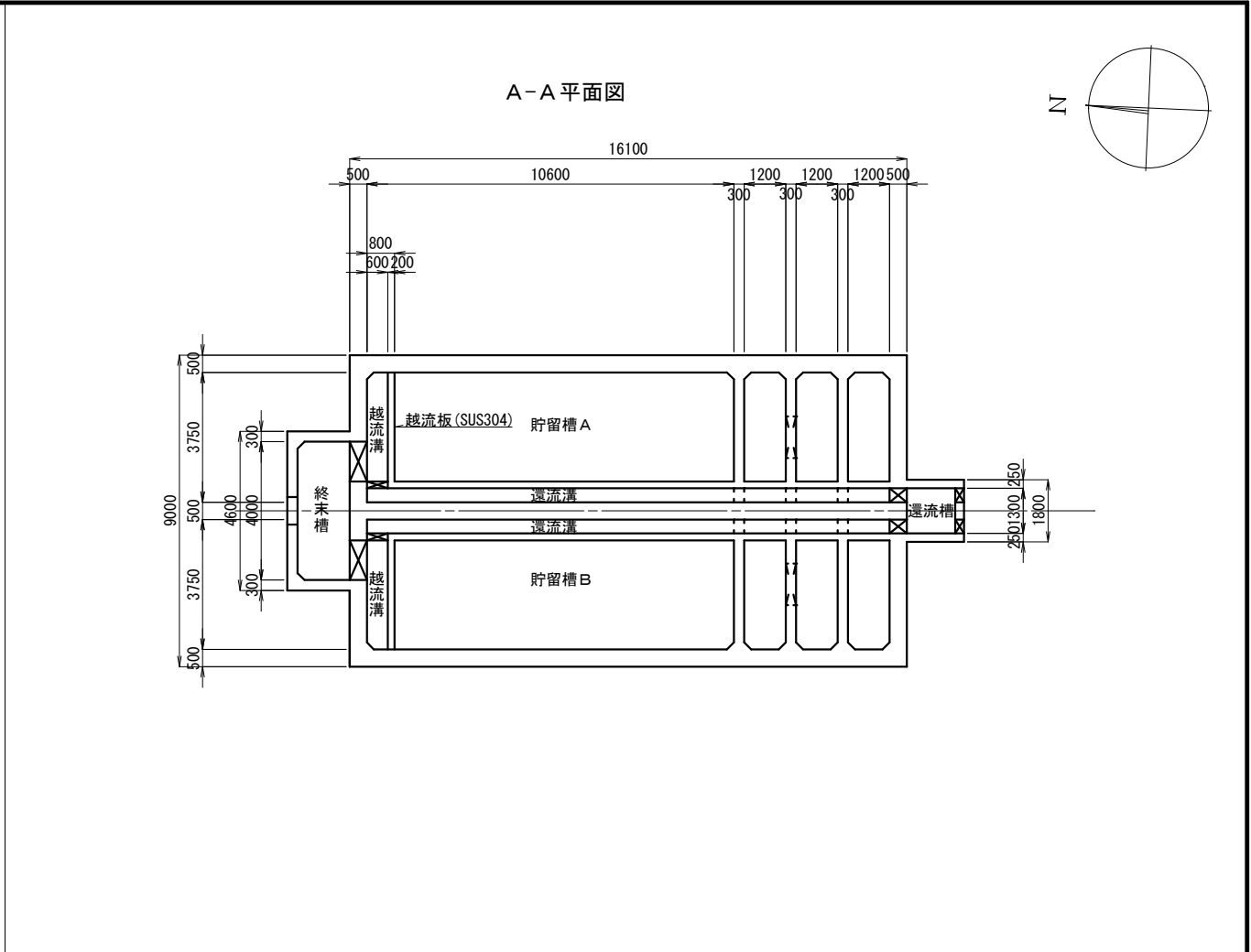
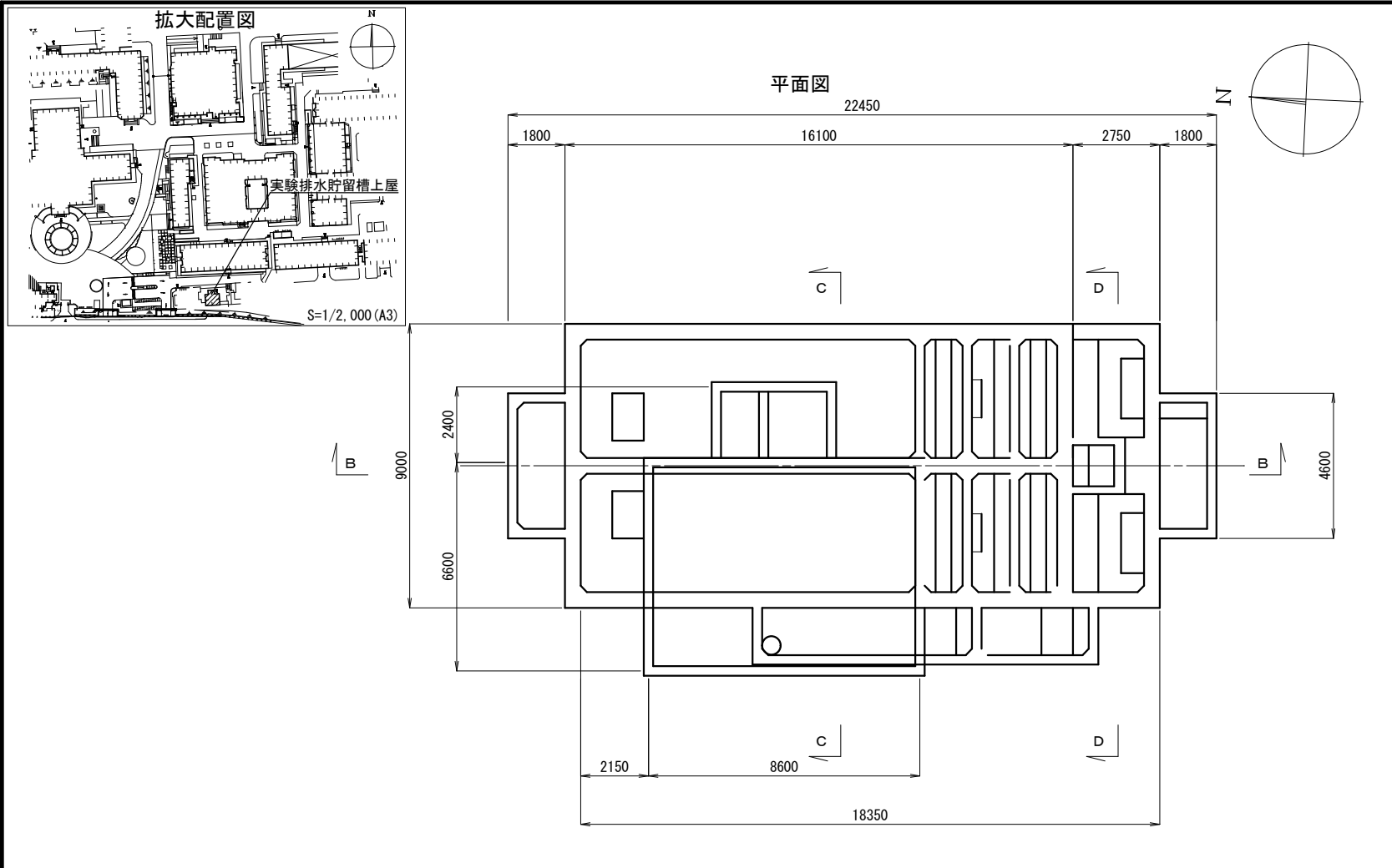


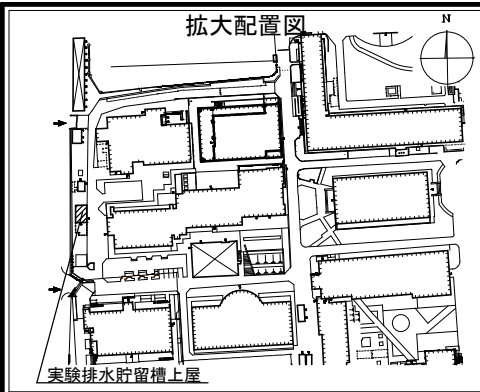
D-D断面図



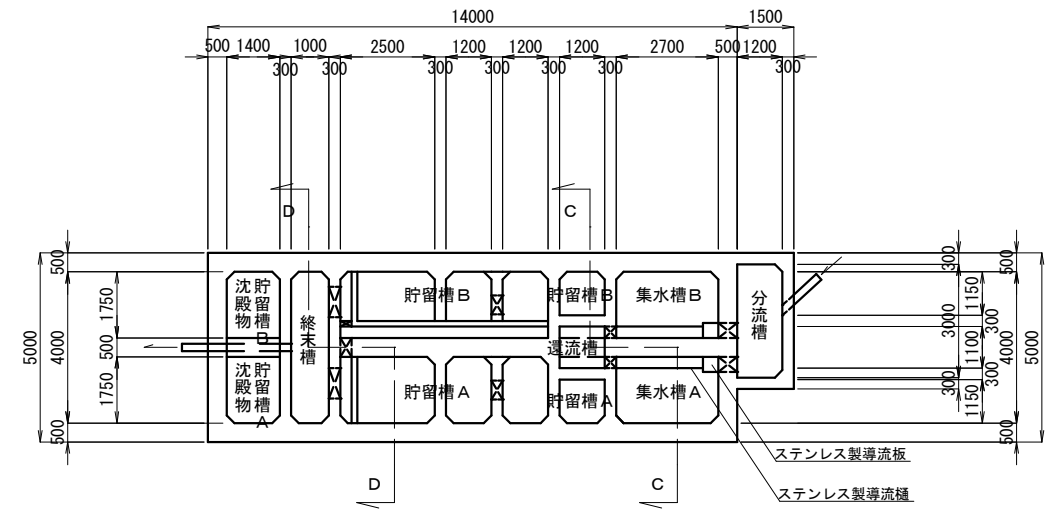
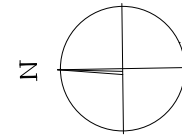
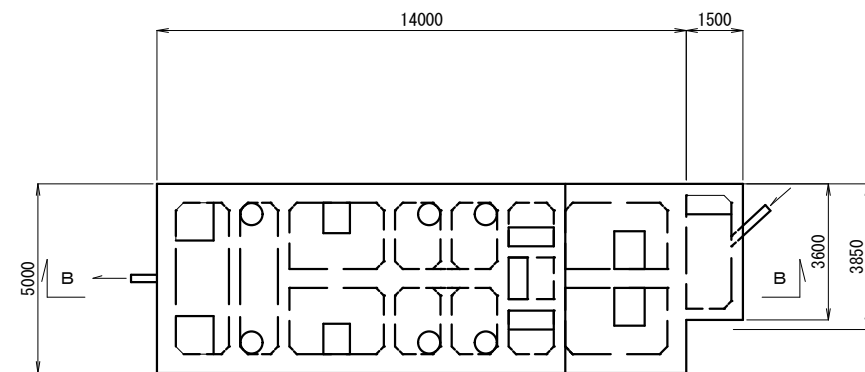
E-E断面図



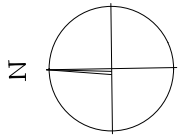




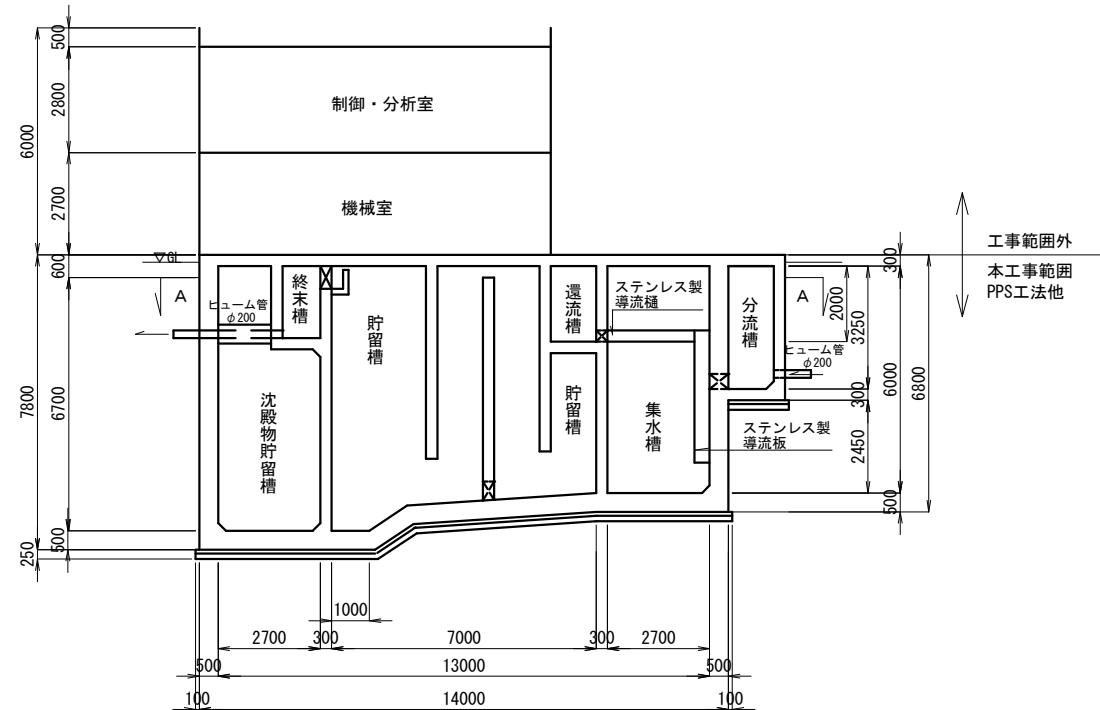
平面図



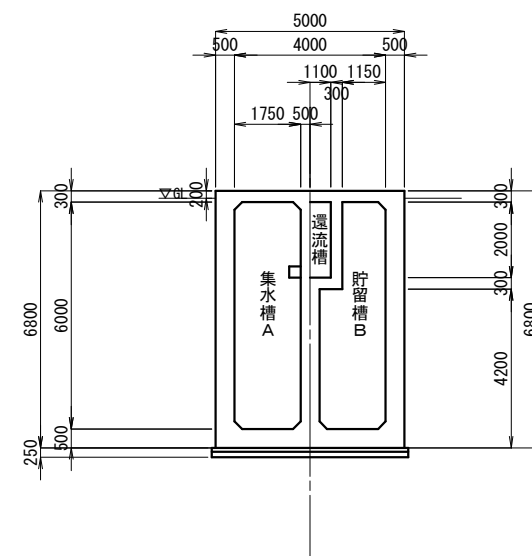
A-A 平面図



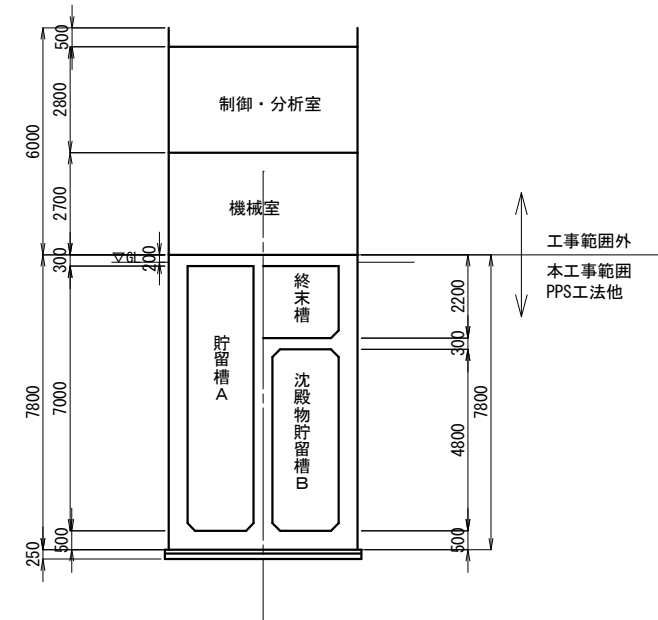
B-B 断面图



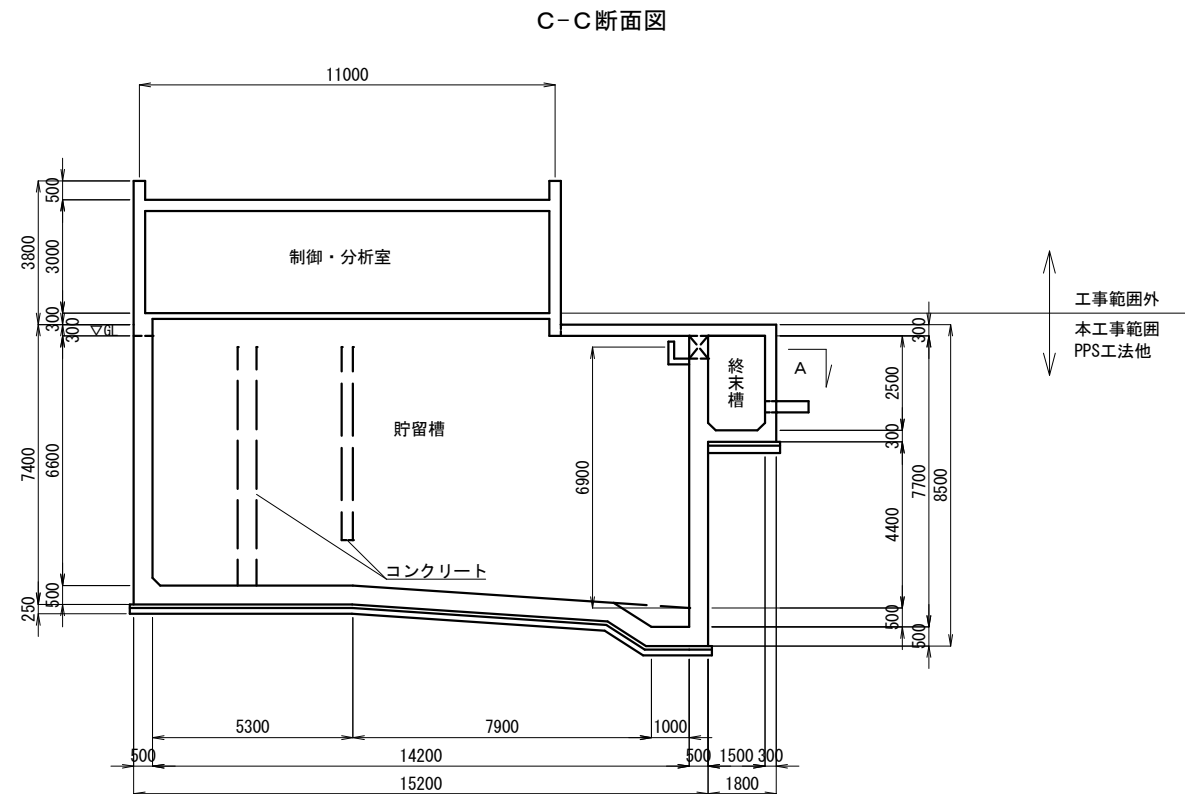
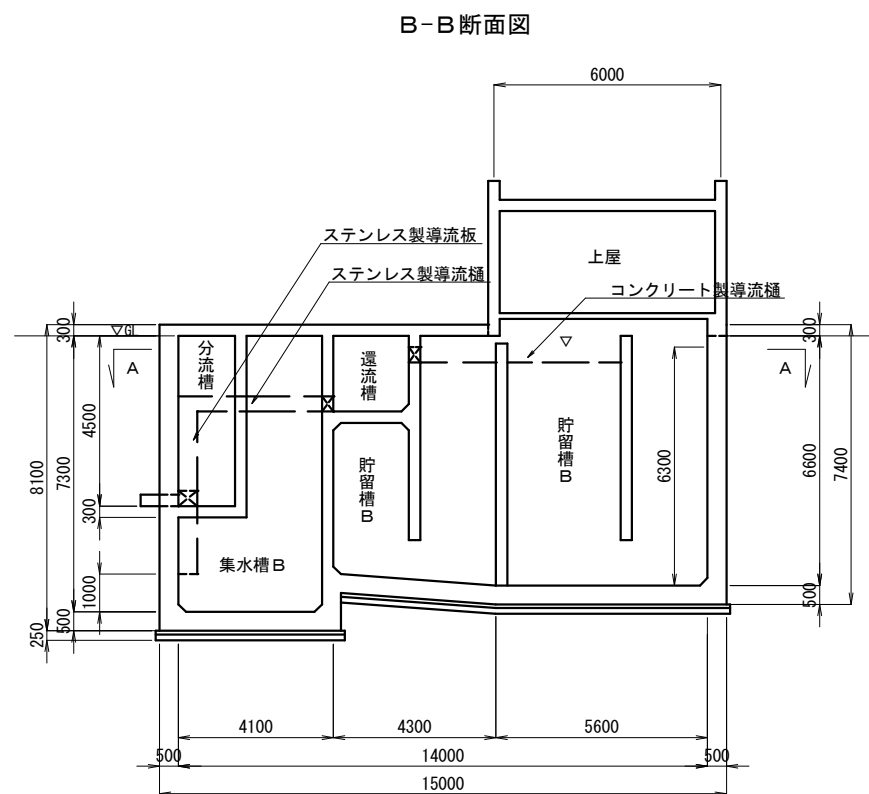
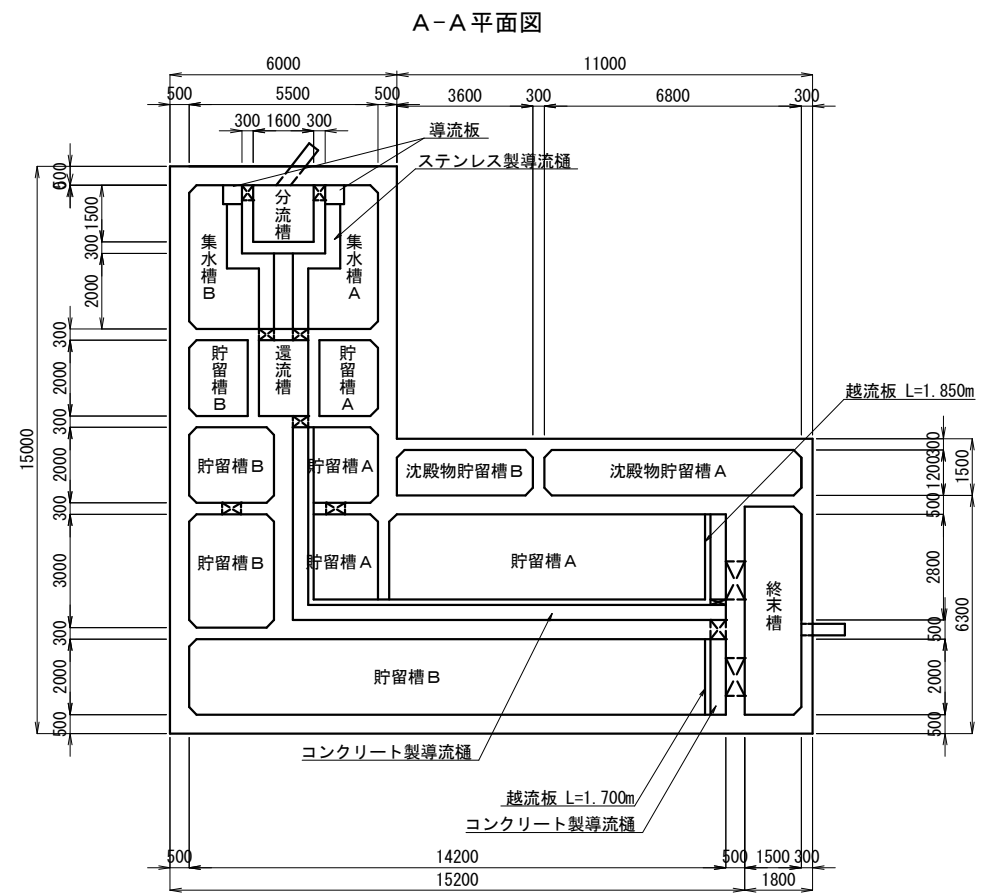
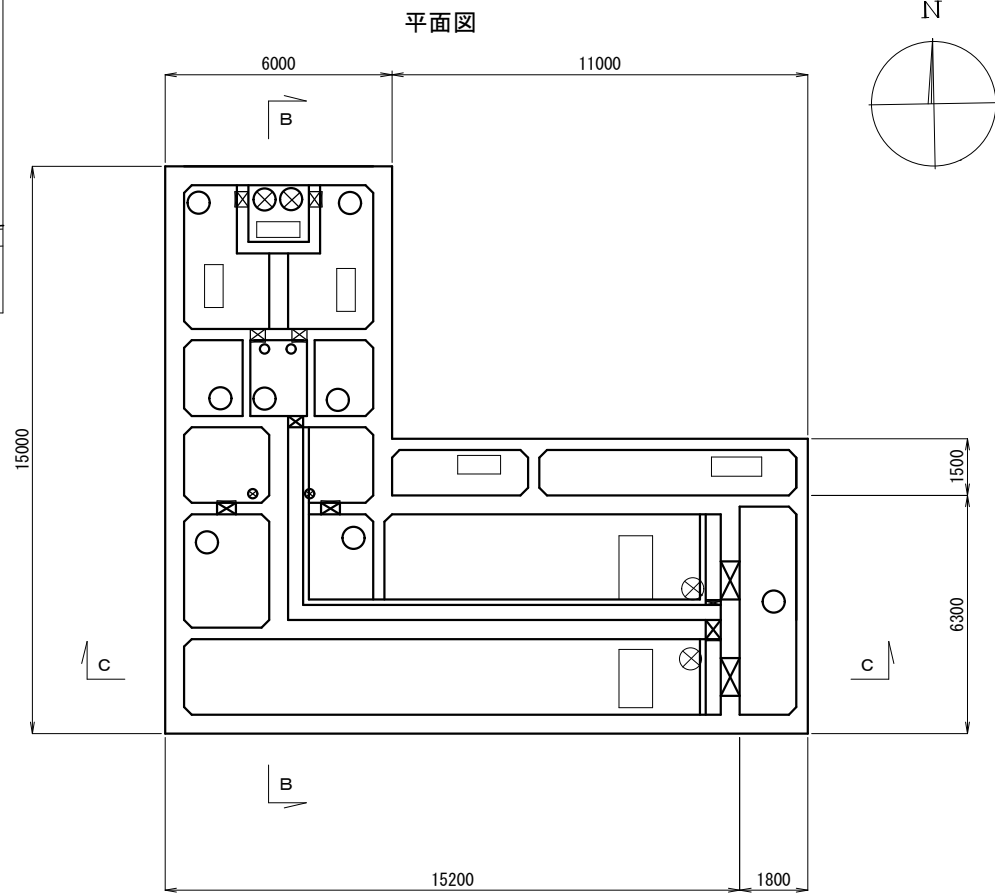
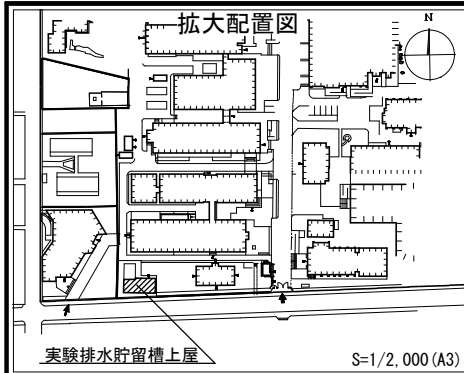
C-C 断面図

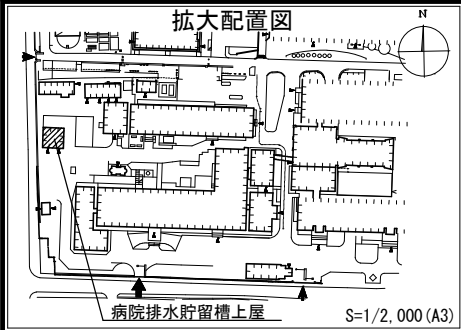


D-D 断面图

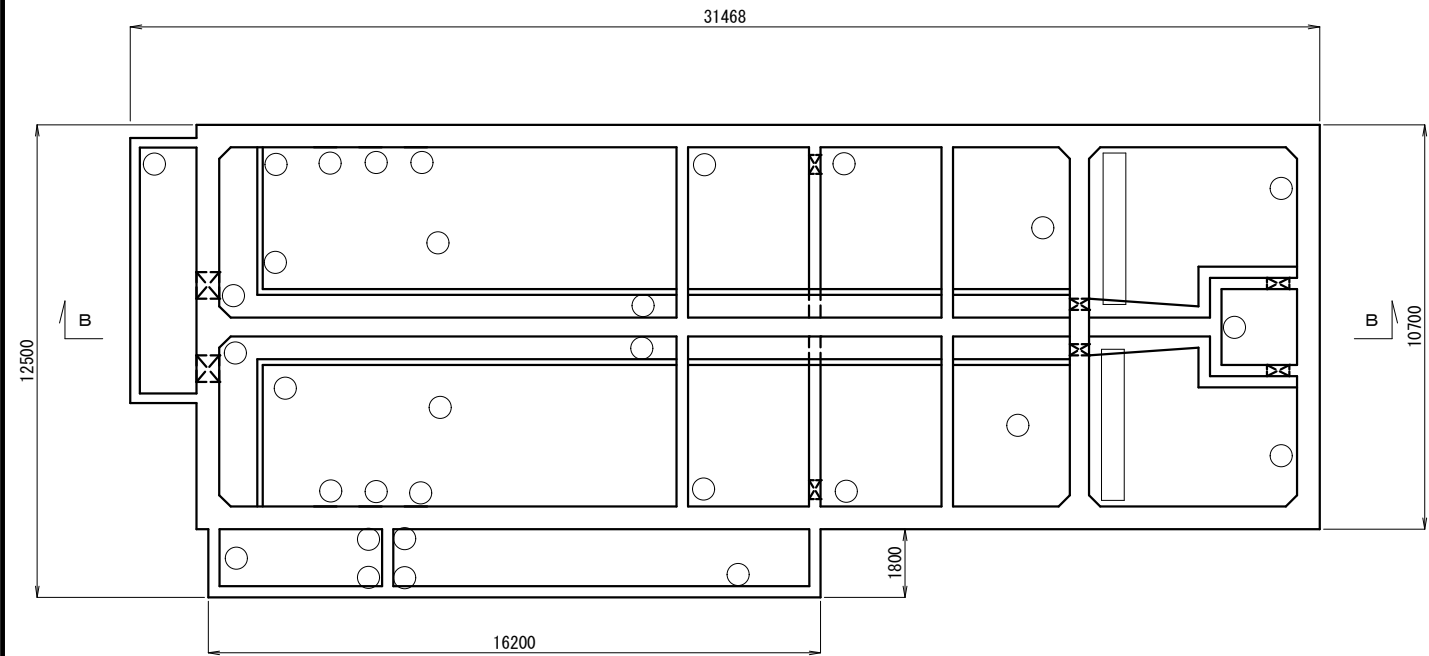


工事名 京都大学（中央他）基幹・環境整備（実験排水処理設備改修）工事		図面番号 5	
図面名称 実験排水槽 平面図 断面図 拡大配置図（吉田南構内）	縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	設計日 令和 8 年 7 月	

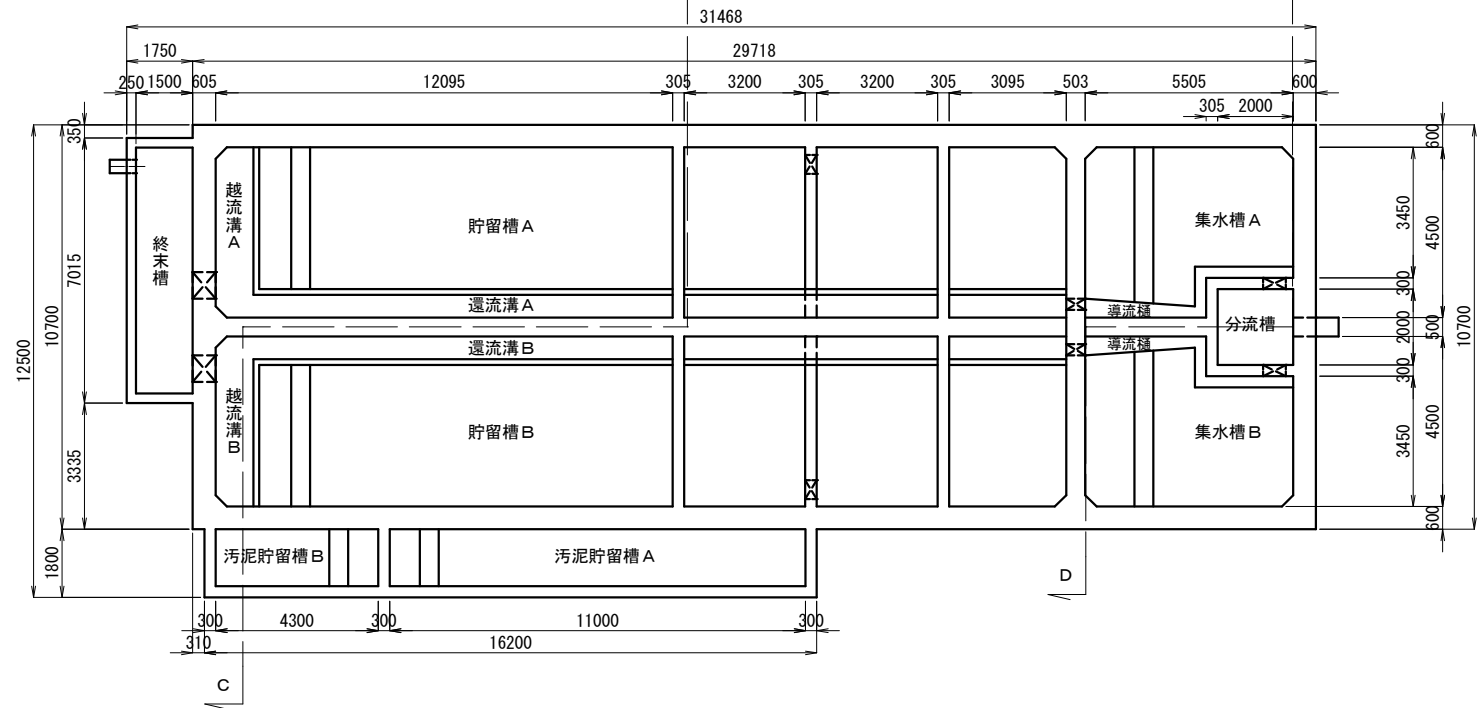




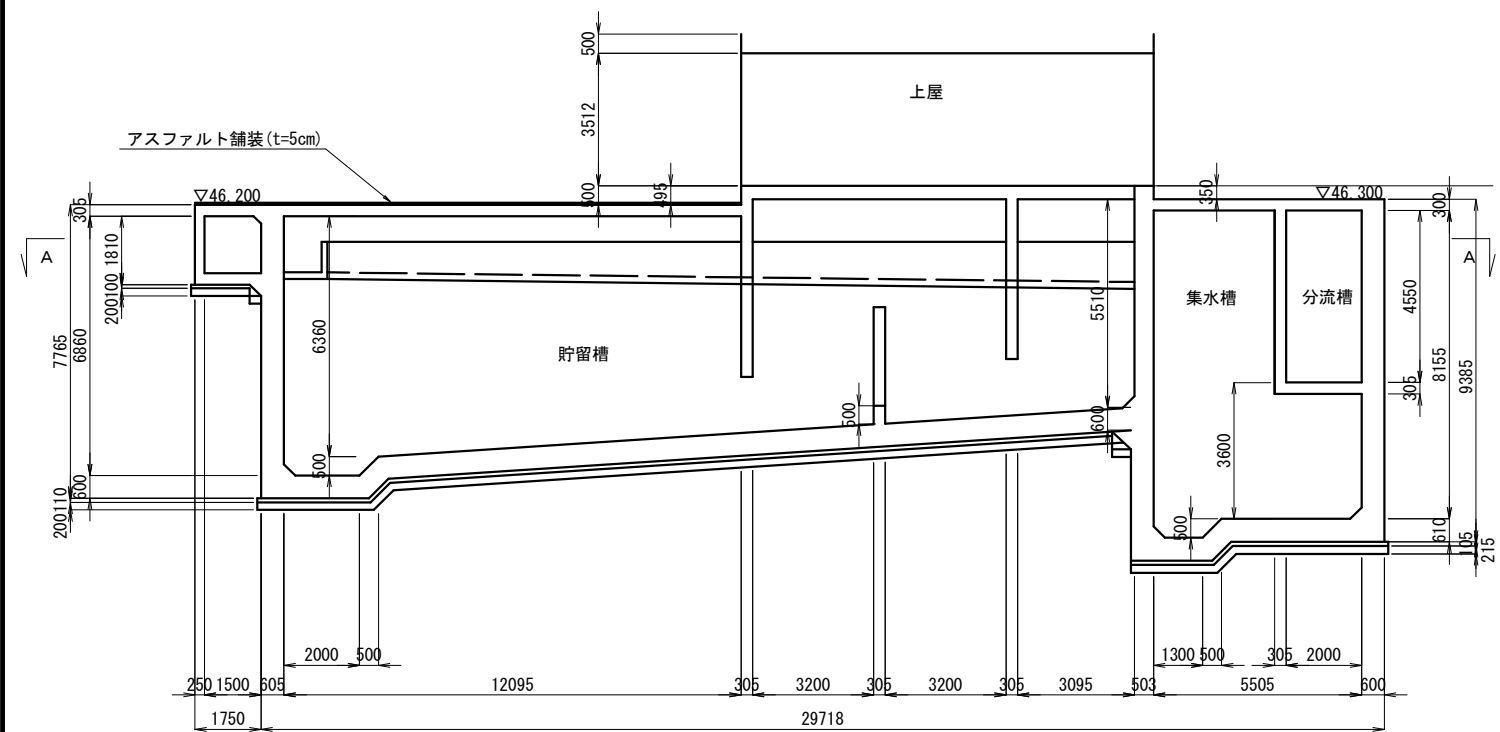
平面図



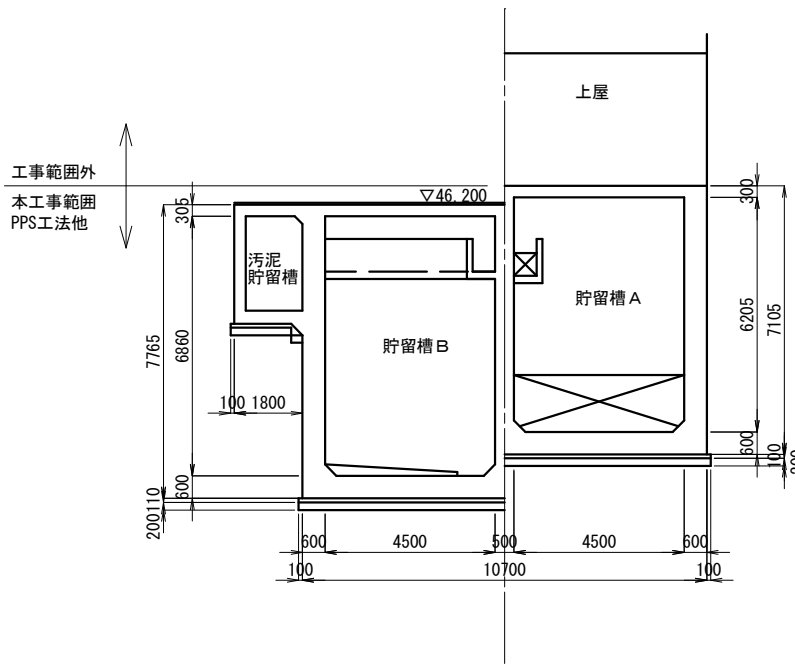
A-A 平面図



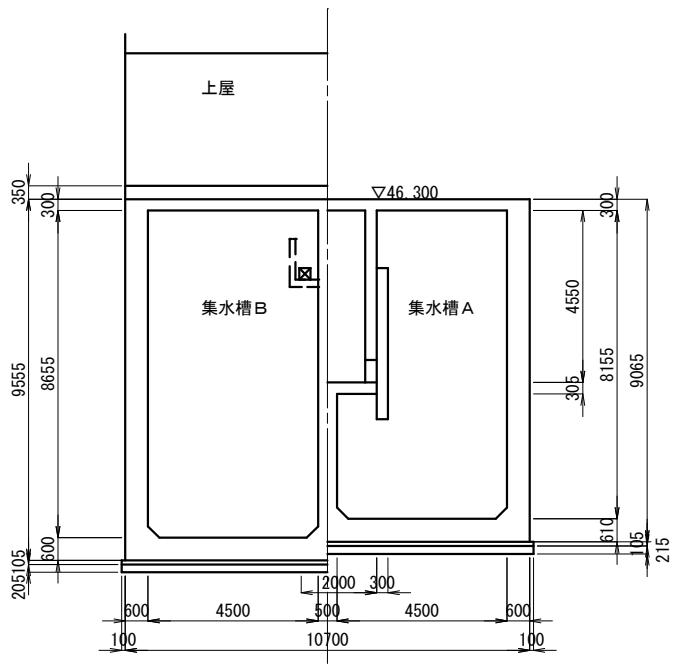
B-B 断面図



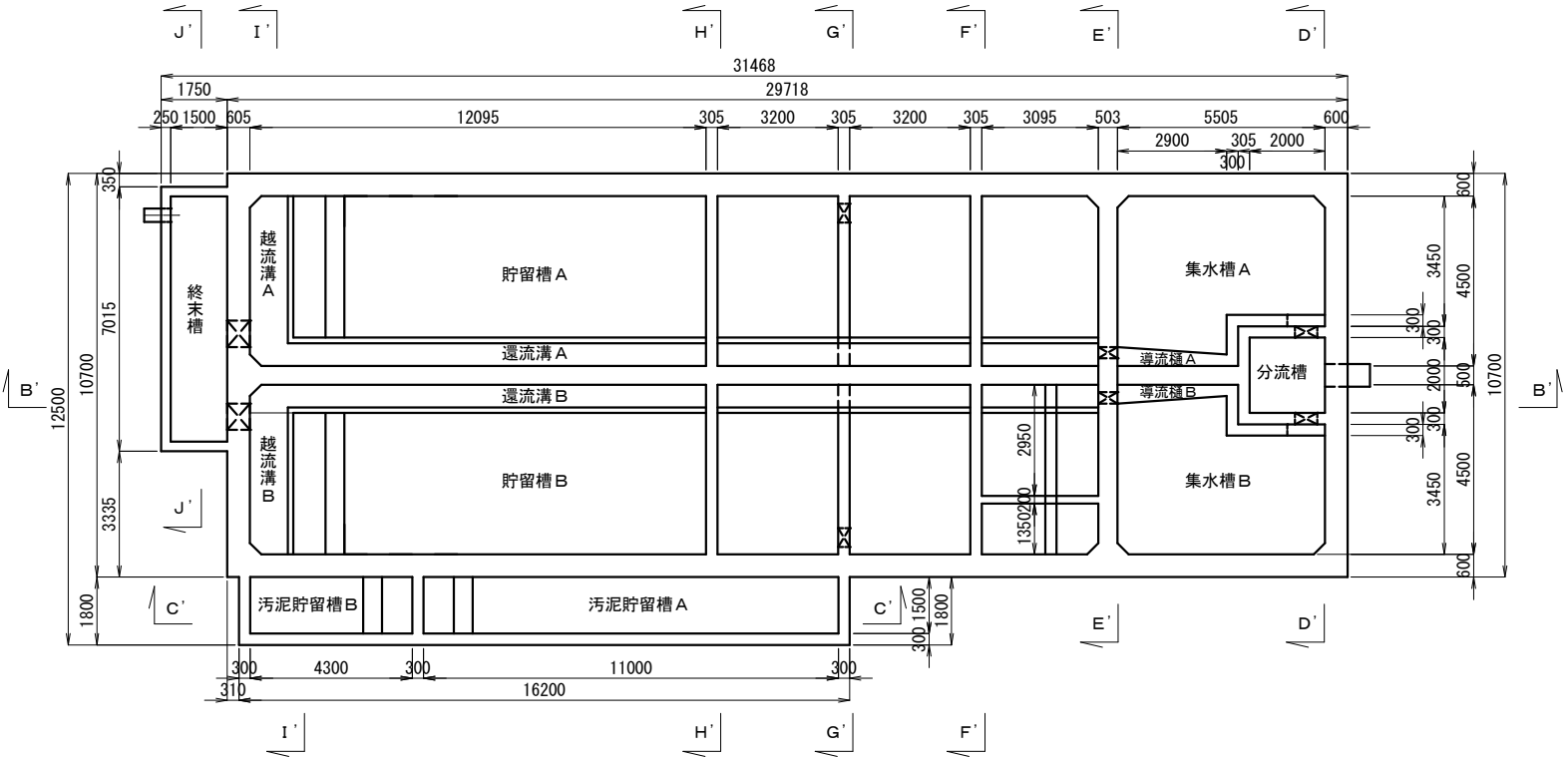
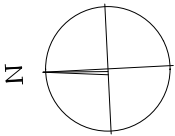
C-C 断面図



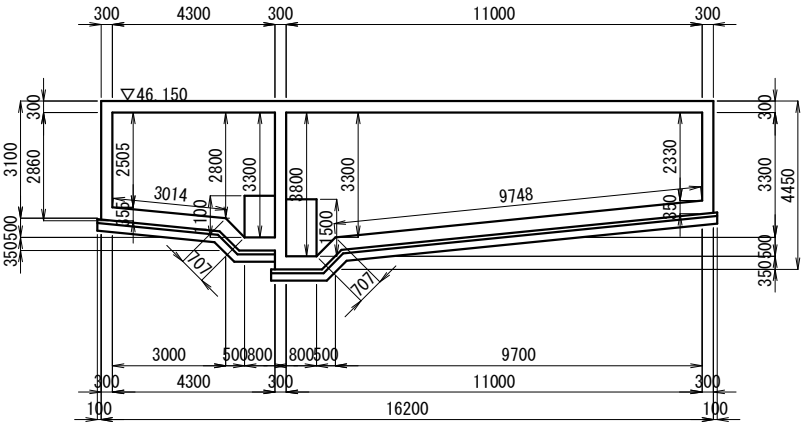
D-D 断面図



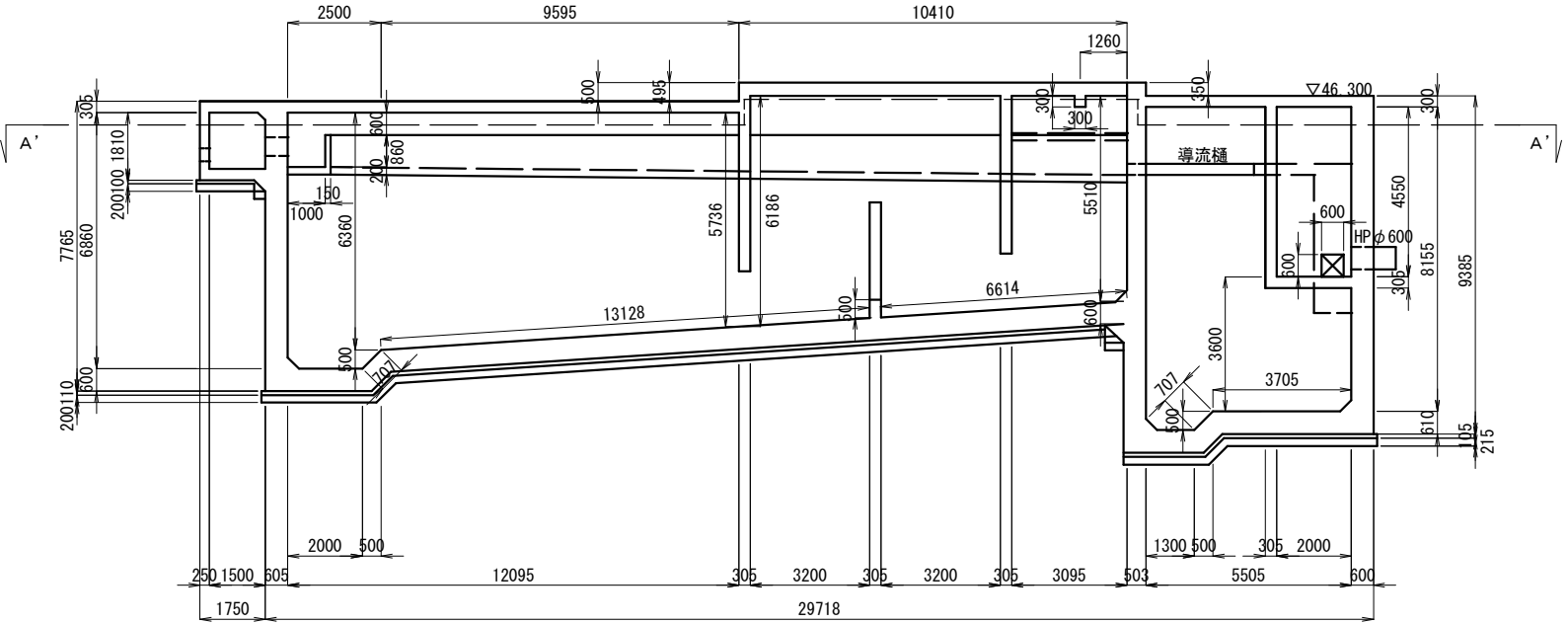
A'-A' 平面图



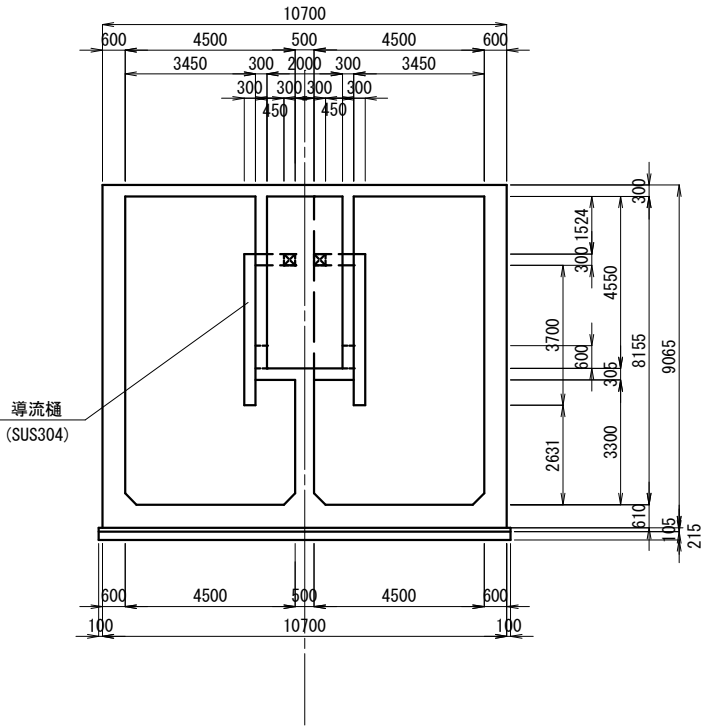
C'-C' 断面图



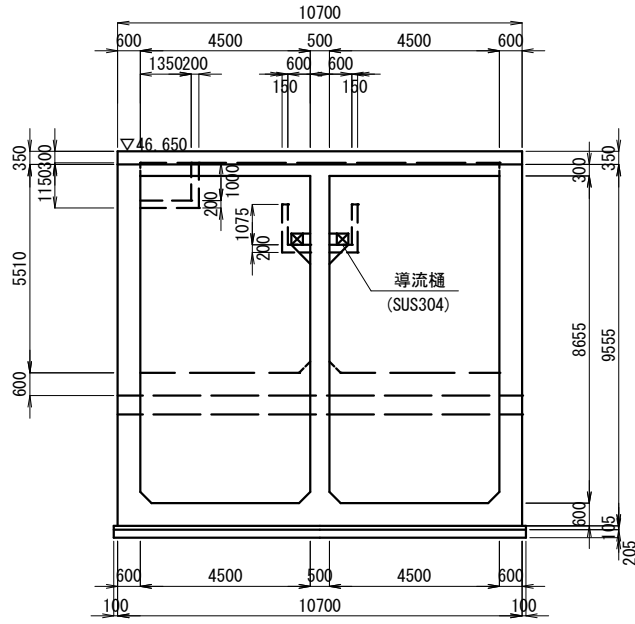
B'-B' 断面图



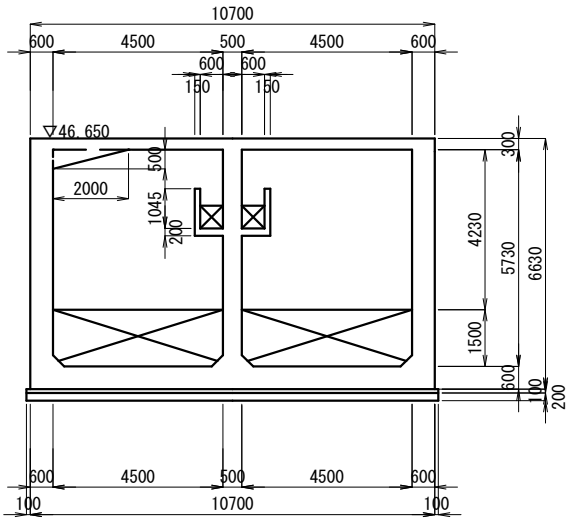
D'-D' 断面图



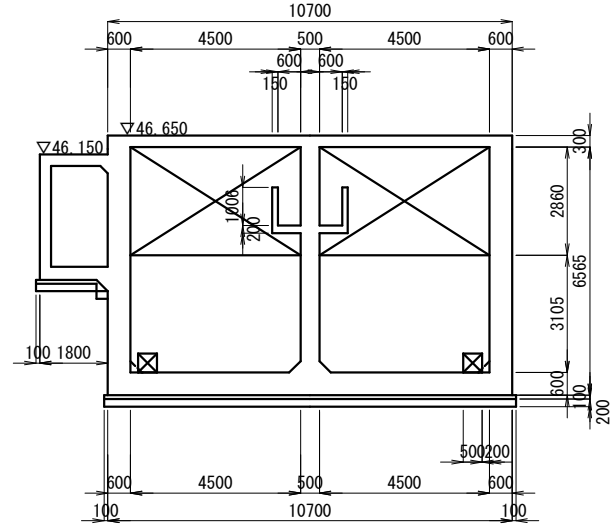
E'-E' 断面图



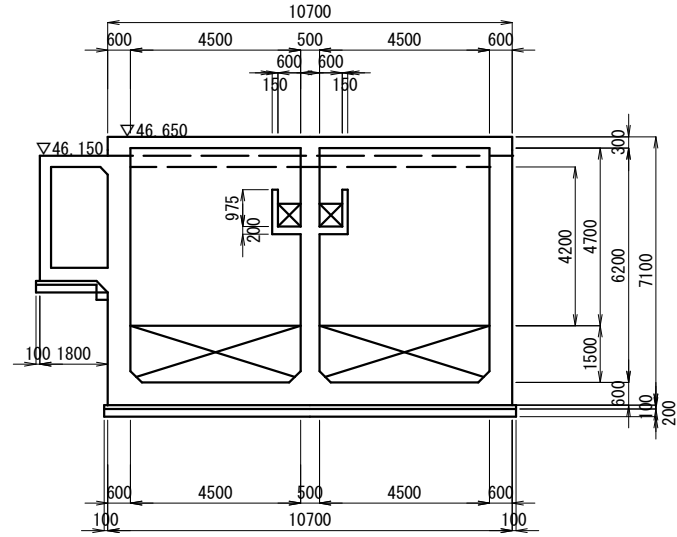
F'-F' 断面图



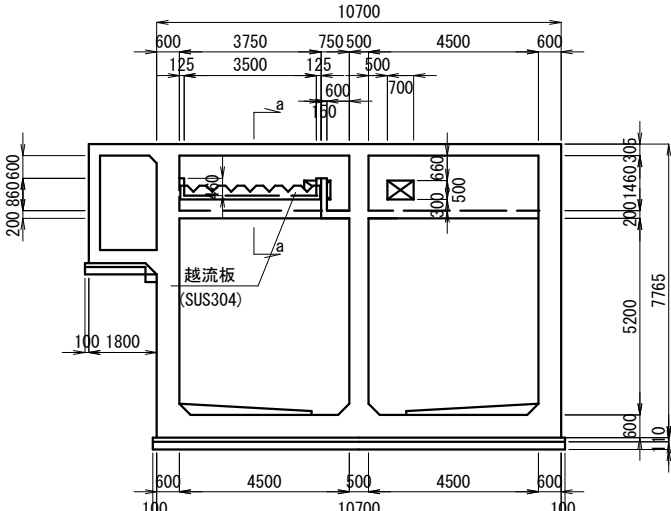
G'-G' 断面图



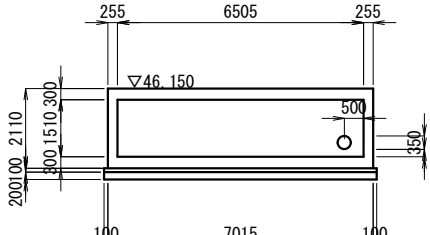
H'-H' 断面图



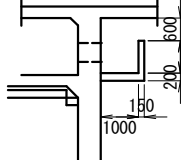
I'-I' 断面图



J'-J' 断面图

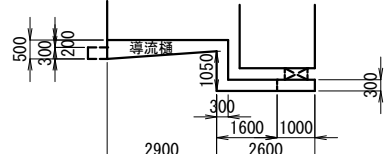


a-a断面图

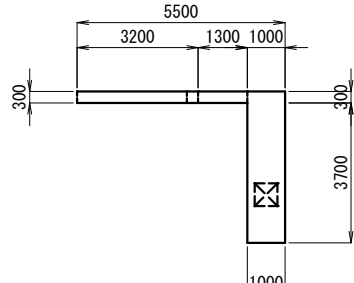


導流桶 B

平面图

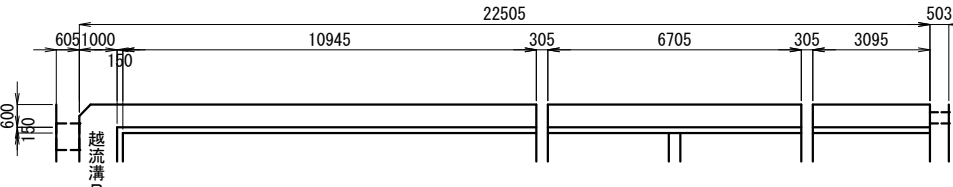


側面図

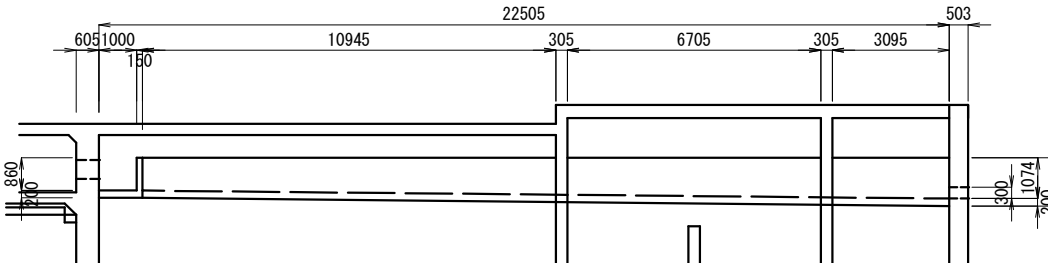


還流溝日

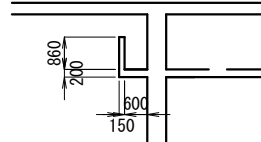
平面图



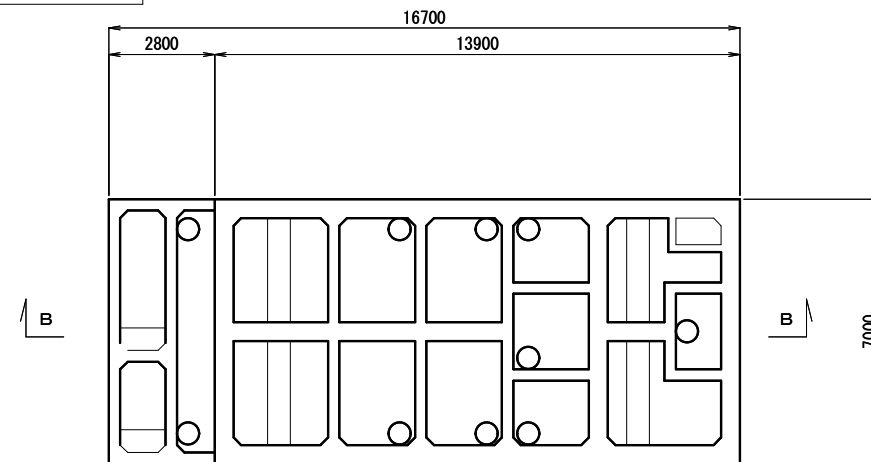
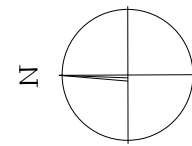
縦断面



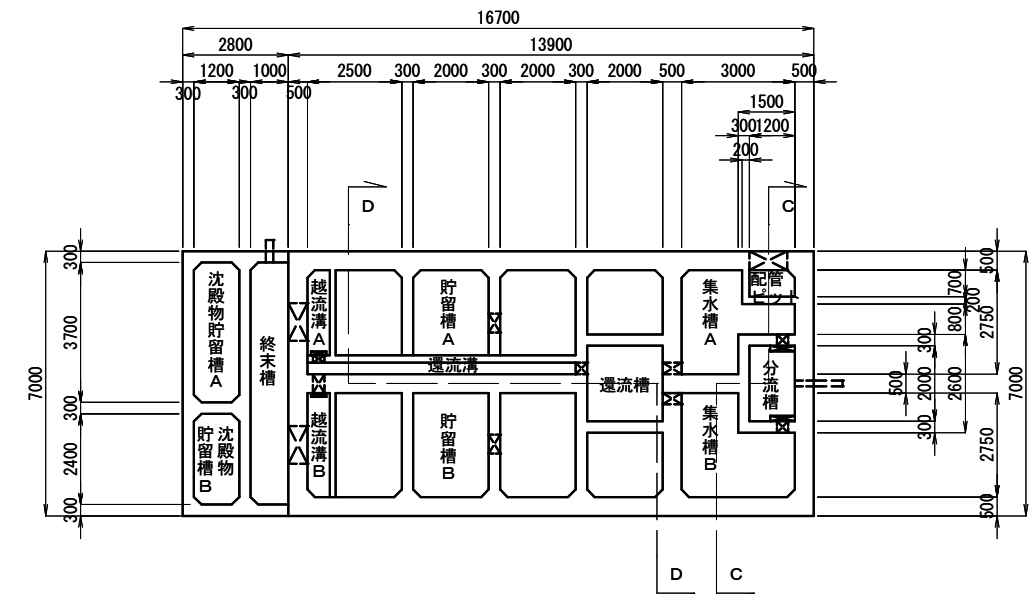
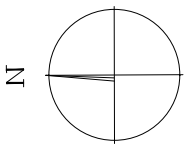
断面図



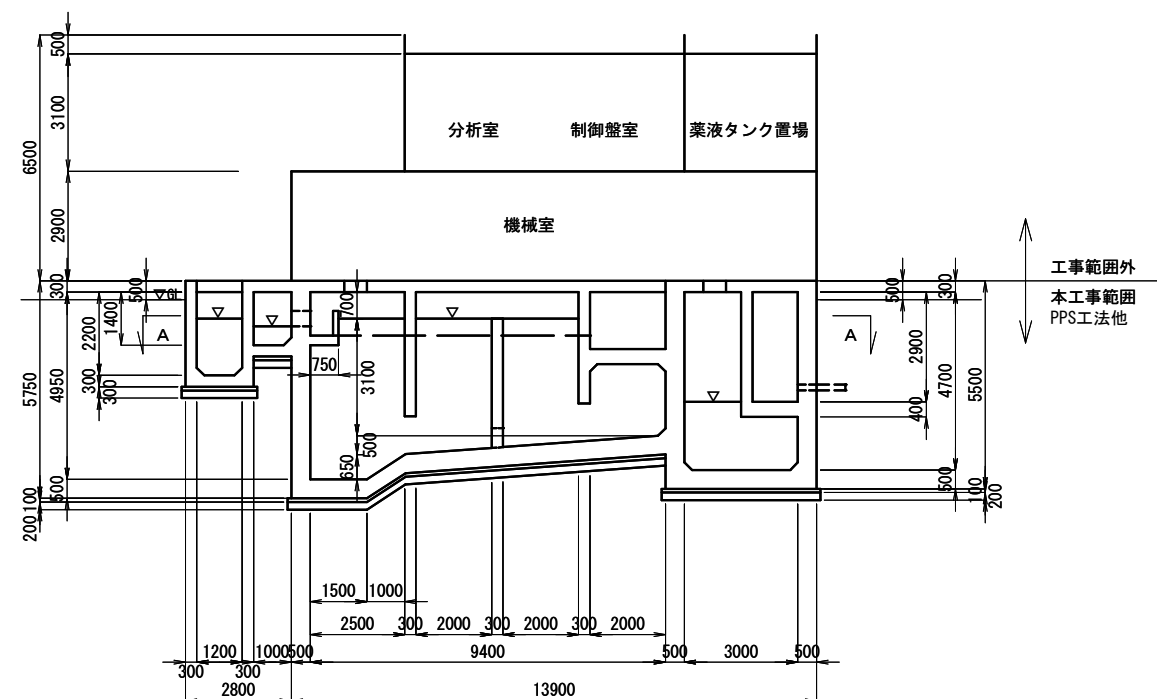
平面図



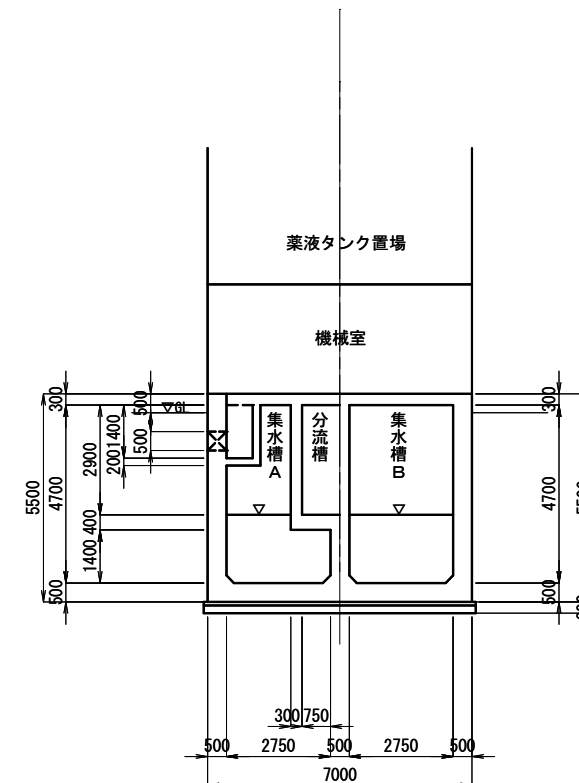
A-A 平面図



B-B 断面图



C-C 断面图



D-D 断面图

